

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 大

上場会社名 コムテック株式会社

コード番号 9657 URL <http://www.ct-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 菅家 博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 戒能 勢津雄

TEL 03-5419-5551

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,820	1.0	172	△28.5	152	△39.9	25	△65.0
23年3月期第2四半期	5,761	△9.5	240	6.4	253	21.8	71	13.2

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 21百万円 (△48.5%) 23年3月期第2四半期 41百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4.48	—
23年3月期第2四半期	12.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年3月期第2四半期	6,465		2,813		43.4	
23年3月期	6,957		2,878		41.1	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,803百万円 23年3月期 2,860百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	8.00	—	15.00	23.00
24年3月期	—	8.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	13.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成23年3月期 第2四半期末配当金には1円00銭、期末配当金には2円00銭、それぞれ記念配当が含まれています。

平成24年3月期の配当につきまして、平成23年5月12日に公表した数値から修正しています。詳細につきましては、本日公表いたしました「剰余金の配当及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,200	1.0	535	△19.4	510	△23.5	195	△33.1	34.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	6,191,100 株	23年3月期	6,191,100 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	583,040 株	23年3月期	582,962 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	5,608,127 株	23年3月期2Q	5,608,182 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、サプライチェーンの復旧に伴い企業の生産活動や個人消費に持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、円高の進行・継続や欧米諸国の財政問題による世界経済の減速懸念などもあり、先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

情報サービス産業においては、東日本大震災の影響で顧客の情報関連投資に弱い動きがみられ、また依然として残る設備過剰感や、顧客からの要求水準の高まりもあり、ビジネス環境は厳しい状況にあります。

このような環境のもと、当社グループでは、「標準単価の見直し」「ナレッジ共有化」「新人事制度の構築」「次世代リーダーの育成」といったプロジェクトを促進するなど、経営基盤の強化に取り組んでいくとともに、既存ビジネスにおける低採算部門の改善と高採算部門の拡大に努めてまいりました。

また、オープンソースデータベース等の成長分野への進出・協業、継続性の高いビジネスへの移行に注力し、事業領域の拡大による新たな成長を目指してまいりました。

しかしながら、東日本大震災の影響に関する対応や、新OSセンター大型案件立ち上げに関わる費用が発生したことから利益面を圧迫しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高58億20百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益1億72百万円（同28.5%減）、経常利益1億52百万円（同39.9%減）、四半期純利益は25百万円（同65.0%減）となりました。

① ITサービス（IT支援）

当サービスは、前期に獲得した電機メーカー向けシステム開発業務等が堅調に推移したものの、クリーンサービス会社向けシステム導入支援業務の中で終了した業務もあり、その結果、前年同期とほぼ同じ水準で推移しました。

これらの結果、売上高は28億97百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

② マーケティングサポートサービス（営業支援）

当サービスは、子会社である株式会社シンカの採用代行業務の伸長や医療機器製造販売会社向けの営業・事務支援業務が拡大しましたが、ITベンダー向け営業・事務支援業務等が縮小し、その結果、前年同期とほぼ同じ水準で推移しました。

これらの結果、売上高は14億29百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

③ データマネジメントサービス（業務支援）

当サービスは、前期に獲得したカード会社向け業務代行サービスの売上規模が拡大した一方で貸金業法改正に伴うカード業界全体の低迷から、各カード会社においては業務縮小傾向となり当社の売上規模が縮小したカード会社もありました。

これらの結果、売上高は14億93百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は前連結会計年度末に比べ4億15百万円減少し、37億50百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少や受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ74百万円減少し、27億7百万円となりました。これは主にソフトウェアの償却による減少、事業拠点の統廃合に伴う敷金及び保証金の減少、投資有価証券の増加によるものであります。

これらの結果、総資産は前連結会計年度末に比べ4億92百万円減少し、64億65百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べ4億27百万円減少し、36億51百万円となりました。これは主に有利子負債の減少、支払手形及び買掛金の減少、未払法人税等の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比べ65百万円減少し、28億13百万円となりました。これは主に四半期純利益25百万円及び剰余金の配当84百万円によるものであります。

これらの結果自己資本比率は43.4%(前連結会計年度末は41.1%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3億25百万円減少（前年同期は3億78百万円の減少）し、17億5百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は92百万円（前年同期は2億37百万円の増加）となりました。主なプラス要因は税金等調整前四半期純利益と減価償却費の計上によるものであり、主なマイナス要因は法人税等の支払によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は95百万円（前年同期は2億46百万円の減少）となりました。主なマイナス要因は有形・無形固定資産の取得、定期預金の預入による支出であり、主なプラス要因は事業拠点の統廃合にかかる敷金及び保証金の払戻によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は3億22百万円（前年同期は3億69百万円の減少）となりました。主な要因は借入金の返済及び社債の償還による支出、配当金の支払によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月12日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,080,499	1,805,377
受取手形及び売掛金	1,647,238	1,544,056
商品及び製品	39,278	8,473
仕掛品	20,223	53,206
原材料及び貯蔵品	4,740	5,534
繰延税金資産	163,721	167,748
その他	211,779	167,803
貸倒引当金	△1,870	△1,865
流動資産合計	4,165,610	3,750,336
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	547,350	553,056
工具、器具及び備品（純額）	206,592	209,808
土地	766,499	766,499
リース資産（純額）	42,187	35,126
その他（純額）	20,554	18,231
有形固定資産合計	1,583,183	1,582,722
無形固定資産		
のれん	88,630	79,877
ソフトウェア	372,865	308,854
リース資産	10,957	8,889
その他	38,687	39,710
無形固定資産合計	511,141	437,331
投資その他の資産		
投資有価証券	187,008	216,717
敷金及び保証金	192,023	156,645
保険積立金	186,440	190,893
繰延税金資産	54,200	70,589
その他	97,658	82,786
貸倒引当金	△30,367	△30,621
投資その他の資産合計	686,964	687,011
固定資産合計	2,781,289	2,707,065
繰延資産	10,765	7,705
資産合計	6,957,664	6,465,106

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	564,954	475,660
短期借入金	440,200	426,000
1年内返済予定の長期借入金	229,820	212,320
1年内償還予定の社債	627,500	610,000
リース債務	19,880	18,853
未払金	647,187	597,794
未払法人税等	183,464	157,524
未払消費税等	31,966	68,522
賞与引当金	166,544	147,124
事業再編損引当金	18,101	—
受注損失引当金	—	6,013
その他	84,936	71,927
流動負債合計	3,014,556	2,791,740
固定負債		
社債	360,000	280,000
長期借入金	456,410	357,240
リース債務	37,845	29,358
長期未払金	61,606	40,424
退職給付引当金	36,891	36,113
役員退職慰労引当金	111,832	116,908
固定負債合計	1,064,585	860,044
負債合計	4,079,142	3,651,785
純資産の部		
株主資本		
資本金	762,725	762,725
資本剰余金	985,635	985,635
利益剰余金	1,697,686	1,638,708
自己株式	△600,402	△600,453
株主資本合計	2,845,644	2,786,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,973	16,710
その他の包括利益累計額合計	14,973	16,710
少数株主持分	17,904	9,994
純資産合計	2,878,521	2,813,321
負債純資産合計	6,957,664	6,465,106

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	5,761,771	5,820,883
売上原価	4,411,589	4,564,166
売上総利益	1,350,181	1,256,717
販売費及び一般管理費	1,109,226	1,084,320
営業利益	240,955	172,396
営業外収益		
受取利息	603	225
受取配当金	12,500	4,001
保険解約返戻金	16,434	—
貸倒引当金戻入額	—	372
事業再編損引当金戻入額	—	157
雑収入	15,927	3,426
営業外収益合計	45,465	8,183
営業外費用		
支払利息	15,805	13,500
支払手数料	8,121	8,329
貸倒引当金繰入額	2,842	289
雑損失	5,884	6,050
営業外費用合計	32,654	28,170
経常利益	253,766	152,409
特別利益		
投資有価証券売却益	9	124
貸倒引当金戻入額	328	—
新株予約権戻入益	60	—
特別利益合計	398	124
特別損失		
固定資産除却損	4,725	1,368
役員退職慰労金	36,638	—
投資有価証券評価損	—	4,586
会員権評価損	—	2,704
減損損失	8,082	—
事業再編損引当金繰入額	4,990	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,008	—
その他	9,150	—
特別損失合計	73,596	8,659
税金等調整前四半期純利益	180,568	143,874
法人税等	113,255	124,080
少数株主損益調整前四半期純利益	67,313	19,794
少数株主損失(△)	△4,491	△5,350
四半期純利益	71,805	25,144

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	67,313	19,794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,499	1,737
その他の包括利益合計	△25,499	1,737
四半期包括利益	41,813	21,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,305	26,881
少数株主に係る四半期包括利益	△4,491	△5,350

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	180,568	143,874
減価償却費	112,157	120,699
繰延資産償却額	3,168	3,059
減損損失	8,082	—
のれん償却額	8,226	8,776
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	4,586
会員権評価損	—	2,704
固定資産除却損	4,725	1,368
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,008	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	618	249
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18,556	△19,420
事業再編損引当金の増減額 (△は減少)	△23,988	△18,101
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	6,013
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△19,268	5,076
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,092	△777
受取利息及び受取配当金	△13,103	△4,226
支払利息	15,805	13,500
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9	△124
売上債権の増減額 (△は増加)	228,594	103,181
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,257	△2,972
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	4,683	17,727
仕入債務の増減額 (△は減少)	△119,295	△89,294
未払金の増減額 (△は減少)	24,367	△28,354
未払消費税等の増減額 (△は減少)	15,811	36,555
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△60,570	△7,966
長期未払金の増減額 (△は減少)	△24,353	△21,181
その他	△22,690	201
小計	311,817	275,153
利息及び配当金の受取額	13,182	4,228
利息の支払額	△15,593	△13,402
法人税等の支払額	△71,857	△173,191
営業活動によるキャッシュ・フロー	237,548	92,788

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,000	△50,000
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△200,297	△79,193
無形固定資産の取得による支出	△53,458	△1,953
投資有価証券の取得による支出	△11,259	△33,303
投資有価証券の売却による収入	10	33,459
子会社株式の取得による支出	△44,875	△1,443
貸付けによる支出	△12,300	—
貸付金の回収による収入	8,692	5,742
敷金及び保証金の差入による支出	△32,105	△2,250
敷金及び保証金の回収による収入	33,575	37,376
その他の支出	△11,082	△4,452
その他の収入	26,262	465
投資活動によるキャッシュ・フロー	△246,837	△95,553
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	△14,200
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△9,222	△9,514
長期借入れによる収入	—	10,000
長期借入金の返済による支出	△88,668	△126,670
社債の償還による支出	△96,500	△97,500
自己株式の取得による支出	△65	△50
配当金の支払額	△73,122	△84,421
少数株主への配当金の支払額	△1,450	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△369,028	△322,356
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△378,316	△325,121
現金及び現金同等物の期首残高	2,192,774	2,030,499
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,814,458	1,705,377

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当連結グループは、情報サービス単一事業であります。そのため、セグメント情報については記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。